

盛岡市社会福祉協議会

第2期 地域福祉活動計画

人と人がつながり
共に支え合うまちづくり



平成 28 年 3 月策定

社会福祉法人 盛岡市社会福祉協議会

第2期地域福祉活動計画策定にあたって

近年、急速に進む少子高齢化、核家族化、ライフスタイルの多様化などにより、地域住民の抱える生活課題が多様化・複雑化しています。

このような中、行政はもとより、地域住民や地域の専門機関、事業者など、地域に関わるすべての人が連携して、支援が必要な人を支える仕組みを作る「地域福祉」の重要性がより一層高まっています。

盛岡市社会福祉協議会では、平成18年度に「地域内住民の良好な交流と相互の支え合いによるまちづくり」を基本理念に掲げ、地域福祉活動計画を策定し、平成27年度までの10年間を計画期間として実践して参りました。

誰もが住み慣れた地域で、安全・安心を実感しながら暮らし続けたいという願いを実現させていくためには、地域を構成する誰もが主役となり、支え合い・助け合いの仕組みづくりを推進することが重要であります。

本計画は、平成28年度から平成37年度までの10か年を計画期間とし、盛岡市と社会福祉協議会が連携、協働して地域福祉ワークショップ、地区福祉懇談会を実施し、多くの市民の皆さまからご意見をいただきながら策定いたしました。

今後におきましても、この「第2期地域福祉活動計画」が地域福祉推進の基本となる計画として、「人と人がつながり共に支え合うまちづくり」を基本理念に、平成27年度に盛岡市が先行して策定した「第2期盛岡市地域福祉計画」とともに、地域住民の皆さまと連携・協働し、地域福祉を推進して参りますので御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画を策定するにあたり、多大なるご尽力を賜りました地域福祉活動計画策定委員会委員の皆さまをはじめ、ご協力をいただきました多くの市民の皆さまに心より感謝と御礼を申し上げ、ごあいさついたします。

平成28年3月

社会福祉法人
盛岡市社会福祉協議会
会長 川村 裕

目 次

第1章 地域福祉活動計画策定の目的と役割	
1. 地域福祉活動計画の目的	2
2. 地域福祉活動計画の役割	2
3. 第2期地域福祉活動計画策定委員会の設置	3
4. 第2期地域福祉活動計画の期間・推進及び評価	3
第2章 地域福祉活動計画の取り組み	
1. 取り組み状況	4
2. 福祉教育の推進	6
3. ボランティア活動の推進	7
4. 地区福祉推進会の活性化	8
5. 社会福祉協議会の活動・事業の活性化	11
第3章 盛岡市の地域福祉課題	
1. 人口、高齢化率	13
2. 地域福祉課題	13
第4章 基本理念と目標	
1. 基本理念	17
2. 基本目標	17
3. 重点項目	17
4. 推進体系	18
第5章 各論	
1. お互いが助け合う地域づくり	20
2. 多様な交流の場づくり	24
3. 幅広い層の担い手づくり	25
4. 解決しにくい課題への取り組み	27
第6章 計画推進のために	
1. ネットワーク連携による計画推進	29
2. 盛岡市社会福祉協議会の強化・発展方針	29
3. 活動計画の実施評価	30
資料編	
1 第2期地域福祉活動計画の策定経過	32
2 第2期地域福祉活動計画策定委員会委員名簿	33
3 第2期地域福祉活動計画策定委員会設置要綱	34
4 パブリックコメント実施要領	36
5 地区福祉懇談会結果	38
6 地域支え合いマップ、ふれあいサロン、シルバーメイト数	41

第1章 地域福祉活動計画の目的と役割

1. 地域福祉活動計画の目的

盛岡市社会福祉協議会地域福祉活動計画(以下「活動計画」という。)は、「誰もが住み慣れたまちで安心して暮らす」地域社会の実現をめざし、盛岡市社会福祉協議会(以下「盛岡市社協」という。)が計画的に地域福祉を推進するための取り組むべき方向を明らかにするものです。

また、市民や地域の多様な団体等との連携・協働による活動を促進していくことをねらいとして策定する行動計画でもあります。

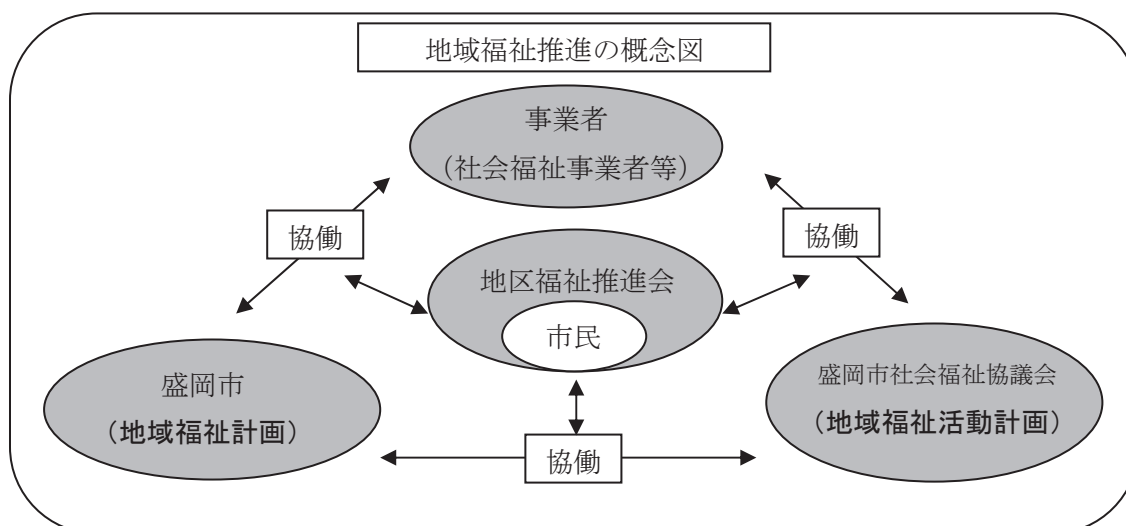
これまでに、盛岡市社協は、平成18年度に地域福祉活動計画を策定し、社会福祉制度の大きな改革や社会経済情勢がおよぼす地域の生活環境の変化等、地域社会を取り巻くさまざまな福祉の課題解決に向けて取り組んできました。

この10年間では、平成20年のリーマンショック以降の大量失業者や新たな貧困問題、孤立死や自殺者の増大、平成23年3月の東日本大震災で多くの尊い人命の喪失、平成25年の盛岡市内の豪雨・台風災害など、これまで経験したことのない現象に見舞われた時期でもありました。そうした中、地域でのつながりが見直され、人と人との新たな支え合いが注目され始め、中間年度の見直し以降は、ふれあい・いきいきサロンを通じた交流の促進や、地域支え合い体制整備を目的に支え合いマップ作成の推進など、地域が主体的に取り組む地域福祉活動が始まっています。

地域福祉の推進を使命とする社会福祉協議会は、その役割を再認識し、市民の福祉活動を今後も支援し、生活・地域課題を解決するために計画を策定するものです。

2. 地域福祉活動計画の役割

活動計画は、「盛岡市地域福祉計画」との整合性を図りながら、行政の取り組みと連携・協力し、地域福祉を推進していきます。

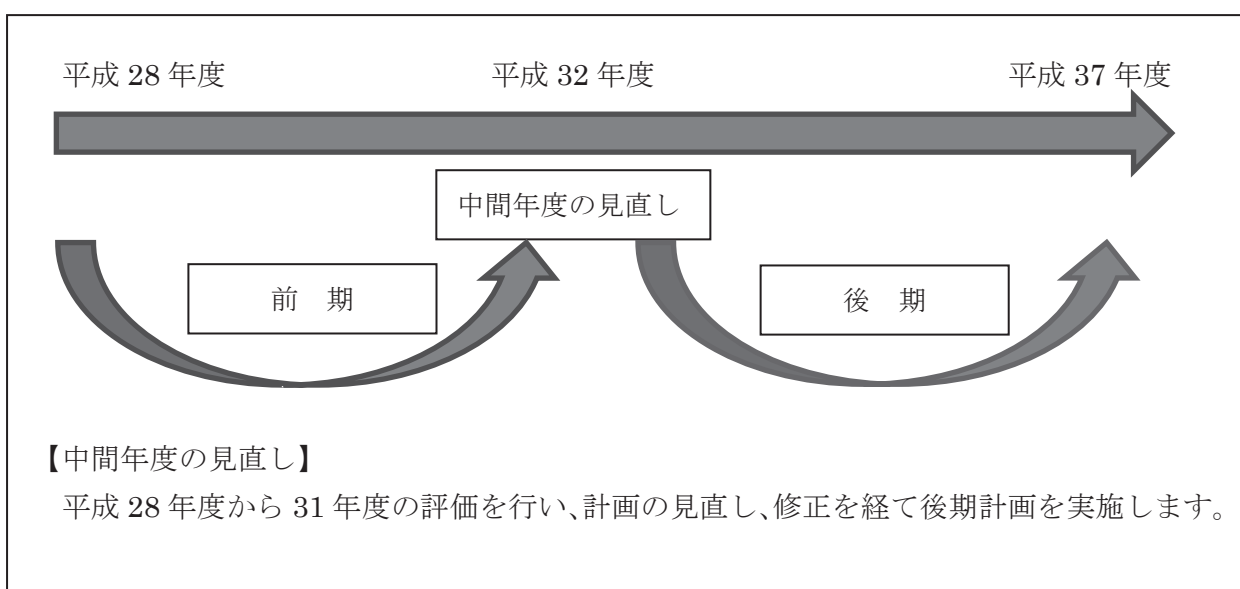


3. 第2期地域福祉活動計画策定委員会の設置

活動計画を、市民や専門的な視点で協議し、計画づくりを行うために、学識経験者、ボランティア活動者、福祉事業者、専門機関職員、町内会・自治会、民生児童委員、行政職員等の関係者で編成する第2期地域福祉活動計画策定委員会を平成26年10月に設置し、協議を進めてきました。

4. 第2期地域福祉活動計画の期間・推進及び評価

活動計画の期間は、平成28年度から平成37年度までの10年間ですが、取り組みの方向を明らかにし、中間年度となる平成32年度に前期の評価を踏まえて見直しを行い、後期の計画を実施します。



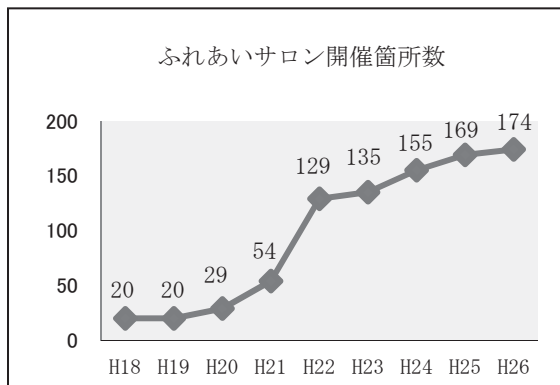
第2章 地域福祉活動計画の取り組み

平成18年度策定の地域福祉活動計画では、基本目標・重点項目を設定し、各種の事業を展開してきました。これまでの取り組み状況は次のとおりです。

1. 取り組み状況

(1) 地域内住民の良好な交流関係の構築

一人暮らし高齢者等を見守るシルバーメイト事業やふれあい・いきいきサロン活動、世代間交流活動など地区福祉推進会などを通じて行い、地域内で顔の見える関係づくりを進めました。



上鹿妻サロン

【ふれあい・いきいきサロン】

ひとり暮らしや、家の中で過ごしがちな高齢者、乳幼児の子育て中の母親など、地域住民が、気軽に集い、協働で企画し活動内容を決め、ふれあいを通して生きがいがづくりや仲間づくりの輪を広げ、地域交流の場として機能する活動がふれあいサロンです。

(2) 地域住民による生活支援の推進

市民に雪かきボランティアの募集を行い、除雪を必要とする高齢者や障がい者世帯へボランティアの派遣を行いました。

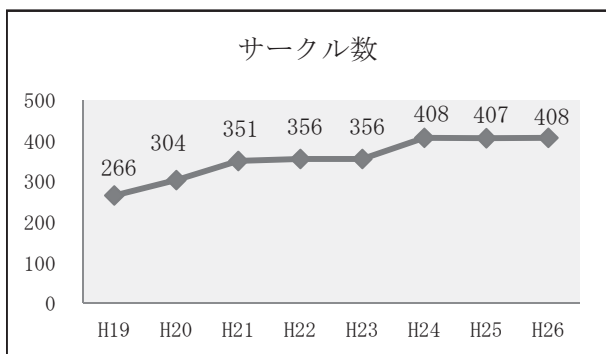
また、米内地区福祉推進会では住民を対象にボランティア養成講座を開催し、雪かきや子育て支援のボランティア活動に取り組んでいます。

【除雪ボランティア登録数】

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26
団体	19 団体	22 団体	13 団体	12 団体	13 団体	11 団体
個人	0 人	18 人	13 人	14 人	17 人	5 人

(3) 趣味や暮らしを通じた、地域内サークル活動の支援

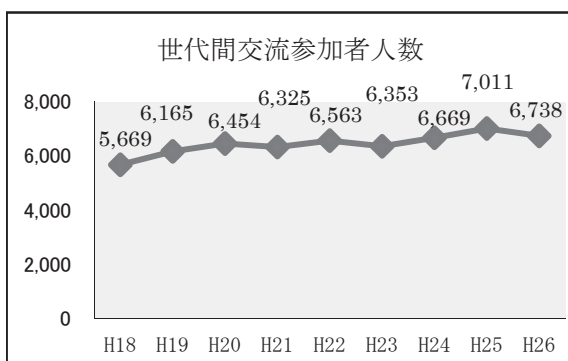
地区福祉推進会の協力を得て老人福祉センター等で行われている各種のサークル活動を調査し、社会福祉協議会のホームページに掲載しました。



(4) 新旧住民の交流の推進

社会福祉協議会に平成 21 年度から地域づくり推進員 2 人を配置し、ふれあい・いきいきサロンの設置・運営の支援を行い、地域のサロンづくりを推進しました。

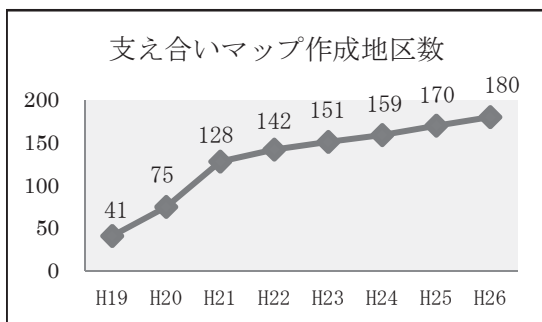
また、地区福祉推進会が開催する世代間交流事業を社会福祉協議会会報「福祉もりおか」に掲載して周知しました。



上田地区世代間交流会

(5) 隣近所の福祉活動の充実

地区福祉推進会単位で高齢者等の見守りを行うシルバーメイト事業の支援や地区福祉推進会や町内会・自治会、民生委員、ボランティアが運営するふれあい・いきいきサロン活動の設置・運営支援、また地域支え合いマップの作成を通じて、地域の支え合い活動を進めました。

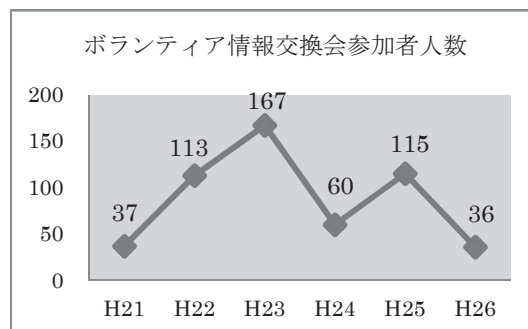
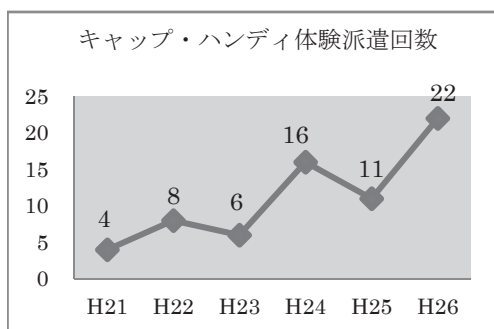


支え合いマップ研修会

2. 福祉教育の推進

(1) 地域の高齢者等と児童・生徒との交流

学校への福祉体験プログラムの提供、キャップ・ハンディ体験を実施し、福祉施設訪問や地区福祉推進会昼食会への参加調整を行いました。また、ボランティア団体や福祉事業者等の参加による情報交換会を開催しました。



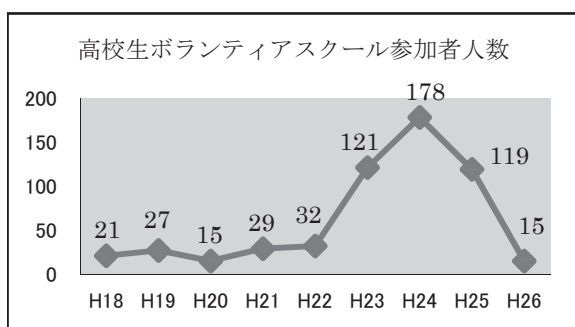
【キャップ・ハンディ体験】

ハンディキャップを持った人の状況を疑似体験することで、その方々の置かれている状況や環境、障がいに対する理解を深め、また、障がいの有無にかかわらず安心して暮らせる地域の環境を考えるきっかけづくりを目的とした取り組みです。

(2) 講座や研修会の充実

市内高校生を対象に高校生ボランティアスクールを開催、また市民向けボランティア入門講座を開催し、各種ボランティア活動の体験や紹介を行いました。

また、講座終了後は、ボランティア団体等の紹介を行い、活動参加につながるよう支援しました。



ボランティアスクール

(3) 福祉教育に携わる関係者との連携強化

市内小中学校のボランティア担当教員を対象に情報交換会を開催し、学校におけるキャップ・ハンディ体験へ職員を派遣しました。また、キャップ・ハンディ体験を行う小中学校へ社会福祉協議会が保有する体験用具の貸出しを行いました。

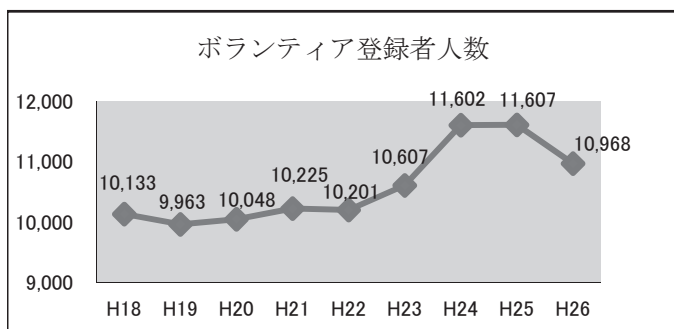
【キャップ・ハンディ体験用具貸出件数】

年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
高齢者セット	0件	0件	0件	0件	0件	6件	3件	3件	2件
車いす	4件	7件	6件	2件	1件	1件	5件	6件	7件

3. ボランティア活動の推進

(1) ボランティアセンター業務

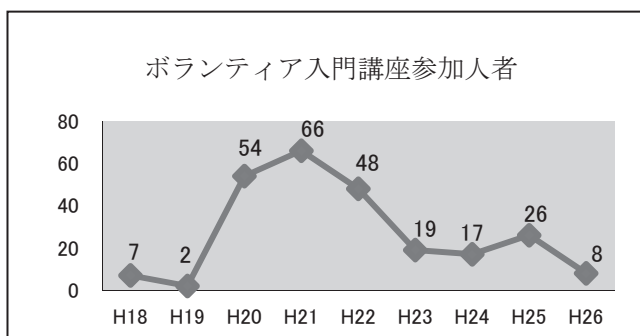
社会福祉協議会のボランティアセンター機能を活かし、市民のボランティア登録、活動情報の提供、ボランティア保険加入手続きを行いました。また、盛岡市防災訓練と併せて災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施し、平成23年の東日本大震災や平成25年の盛岡市豪雨、台風災害では災害ボランティアセンターを立ち上げ、災害ボランティアに関する情報を社会福祉協議会会報やホームページで発信し、多くのボランティアが活動に参加しました。



H25 災害ボランティアセンター（玉山）

(2) ボランティア入門講座開催事業

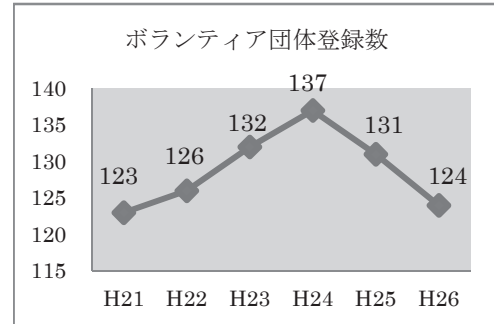
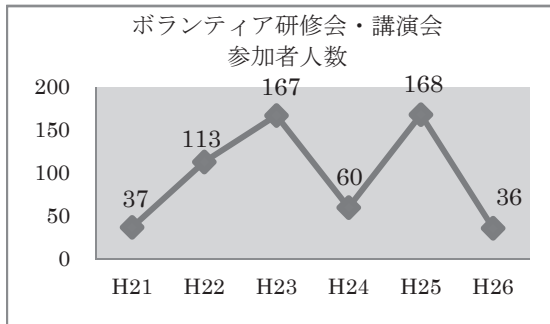
市民を対象にボランティア入門講座を開催し、ボランティアを学び、体験する機会を提供し、ボランティア活動の理解と関心を深めました。



ボランティア入門講座

(3) ボランティア連絡協議会との連携強化

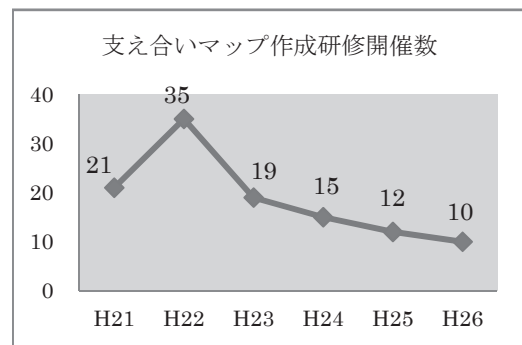
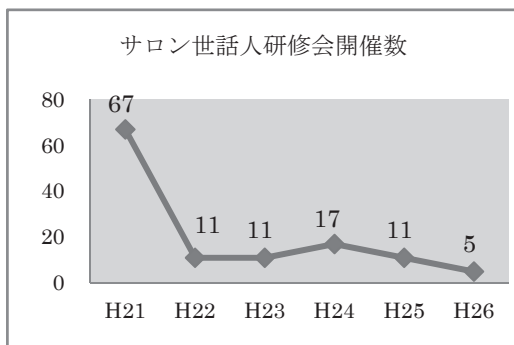
ボランティア連絡協議会と共催でボランティア情報交換会や研修会・講演会、ボランティアまつりを開催しました。またボランティア団体活動調査を行い、福祉施設等へ情報提供を行い、ボランティア団体の派遣調整を行いました。



(4) 地域ボランティア体制づくりの協力

町内会・自治会で一人暮らし高齢者や障がい者などの要援護者を地域で把握し、災害時や日ごろの見守り活動につながる「地域支え合いマップ作成研修会」や、地域の高齢者や子育てを対象とした「ふれあい・いきいきサロン」の担い手となるボランティア（世話人）養成研修会を開催しました。

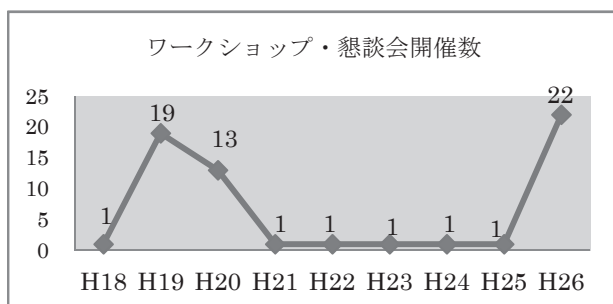
また、要援護者世帯の除雪に協力する団体、個人ボランティアの募集を行い派遣しました。



4. 地区福祉推進会の活性化

(1) 活動の支援、地区福祉懇談会の開催

地区福祉推進会が行うシルバーメイト事業や介護講座、医療・保健講座の開催に市、社会福祉協議会で経費を支援しました。また、地区福祉推進会単位でワークショップ、福祉懇談会を開催し、地域課題の把握、課題解決について住民と一緒に考える場所づくりを進めました。



地区福祉懇談会（杜陵地区）

(2) 地域福祉ワークショップの情報提供

地区福祉懇談会（ワークショップ）の開催情報や結果を社協の会報やホームページに掲載しました。

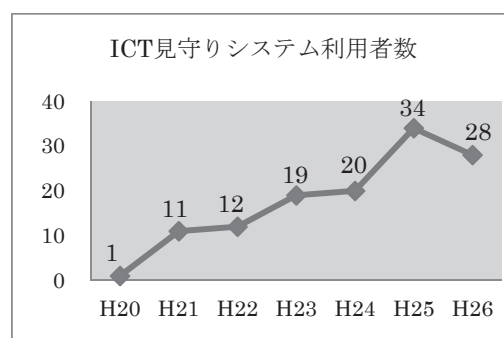
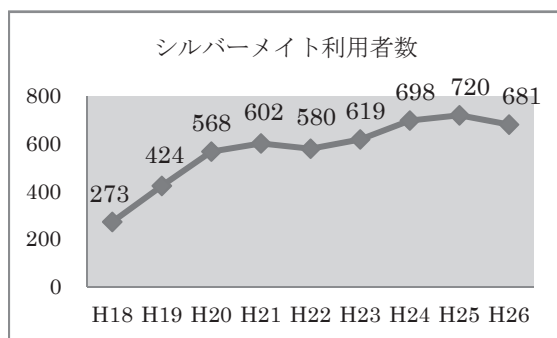
(3) シルバーメイト事業の推進

高齢者等の見守り活動を行うシルバーメイト事業は、地区福祉推進会、町内会・自治会、民生委員など地域住民の主体的参加により実施しました。

また、岩手県立大学、岩手県社会福祉協議会等と連携して、ICT（情報通信技術）を活用した新たな見守りの仕組みづくりを進めました。

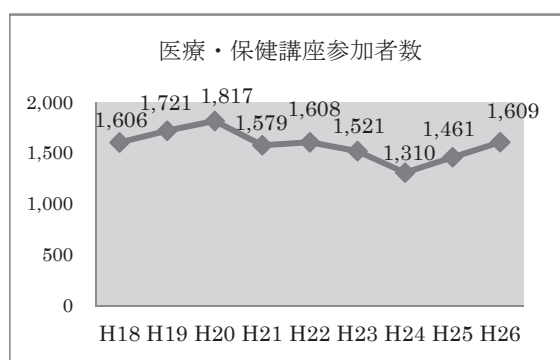
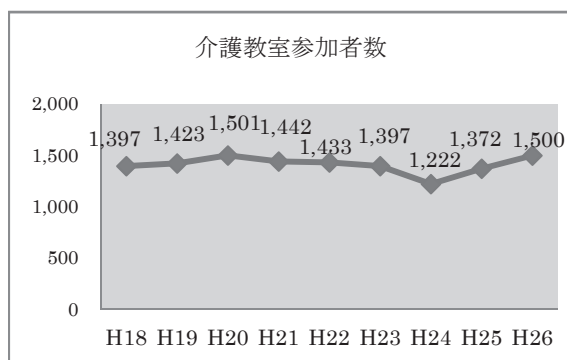
※ICT（情報通信技術）を活用した見守り

高齢者自身が安否や体調について家庭用電話機から発信し、その発信情報を社会福祉協議会等の見守りセンターで確認し、発信のない場合に地域の協力者等へ連絡し、安否を確認するシステムです。



(4) 介護教室・認知症予防講座などの開催支援

地区福祉推進会で介護技術や認知症予防に関する知識を習得するため、介護教室や医療・保健講座を開催しました。また、経費助成及び講師紹介の支援を行いました。



(5) あらゆる層の住民が参加している世代間交流事業の開催支援

地区福祉推進会が開催するスポーツ大会、伝統行事、祭りなど、地域住民の世代間交流事業に経費支援するとともに、「福祉もりおか」に掲載して事業を周知しました。



緑が丘地区世代間交流



太田地区世代間交流

(6) 児童・生徒が地域で安全に過ごせる環境整備活動

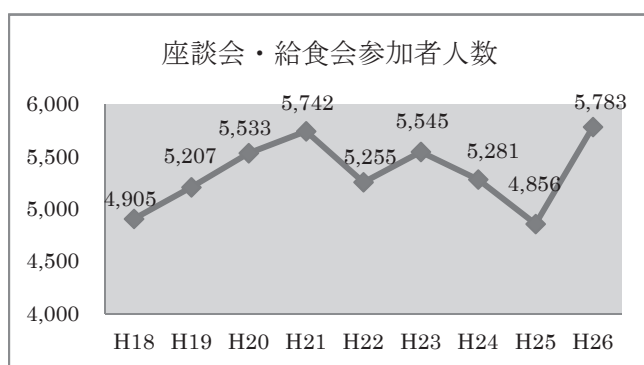
子ども会育成会、教育委員会、盛岡市少年センター、少年指導員など関係組織と連携し、各団体・機関の事業や活動を通じて児童生徒、青少年の健全育成を推進しました。

【子ども会育成会連絡協議会共催・協力事業参加者】

事業名	H21	H22	H23	H24	H25	H26
児童福祉講演会	120人	120人	120人	111人	45人	55人
子ども会議	480人	450人	450人	450人	450人	500人
子ども会清掃奉仕活動	200人	80人	80人	100人	150人	60人

(7) ふれあい座談会・給食会の開催支援

高齢者を対象に行っている昼食会に開催経費の支援を行いました。高齢者の交流や情報交換の場として参加者も増加しています。



大慈寺地区昼食会

(8) 地域の特性に合わせたボランティア活動への支援

各地区で行われているボランティア活動の取り組みを「福祉もりおか」等で紹介し、市民の参加を促しました。

(9) 地区福祉推進会の地域福祉活動計画の策定

モデル地区の取り組みについて、地区福祉推進会会長連絡会などの研修会等で活動の取り組みなどを紹介して、他地区での取り組みを促しました。

【策定地区】

太田地区福祉推進会（平成 22 年度）

見前地区福祉推進会（平成 22 年度）

5. 社会福祉協議会の活動・事業の活性化

(1) 地区福祉推進会との連携強化

地区福祉推進会が実施するふれあい昼食会、世代間交流などのシルバーサロン事業を連携して推進しました。また、地区福祉推進会会長連絡会や事務局長会議で意見交換を行いながら、地域福祉の推進に取り組みました。

(2) 介護保険事業の効率的運営

社会福祉協議会が運営する介護保険事業について、定期的な経営会議の開催、継続的な業務の自主点検・改善により、利用者のニーズ把握と効率的な経営管理に努めました。

(3) 職員体制の充実と財政運営の適正化

職員の資質向上のため、階層や経験等により職員研修を体系化し計画的に実施しました。また、社協の運営財源確保のための資金運用や運営施設管理費の縮減を進めました。

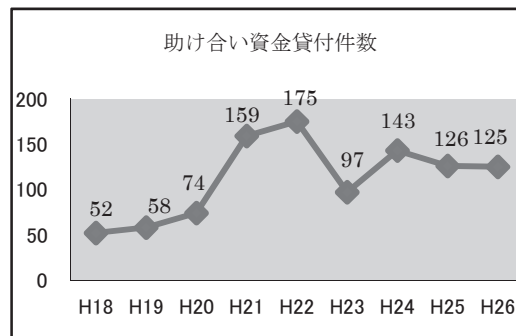
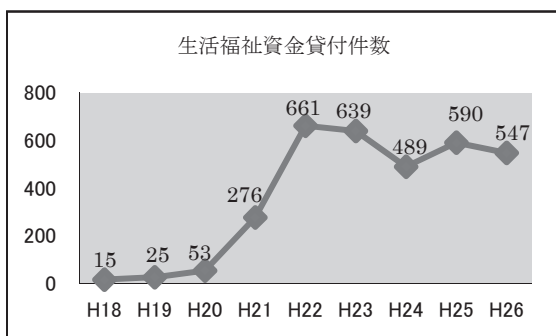
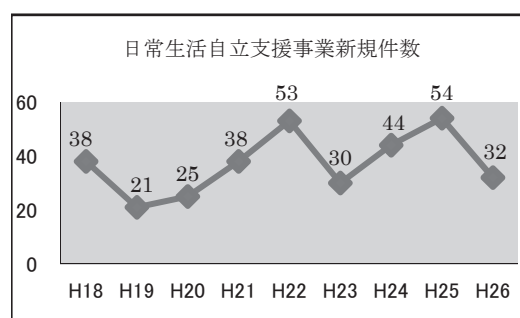
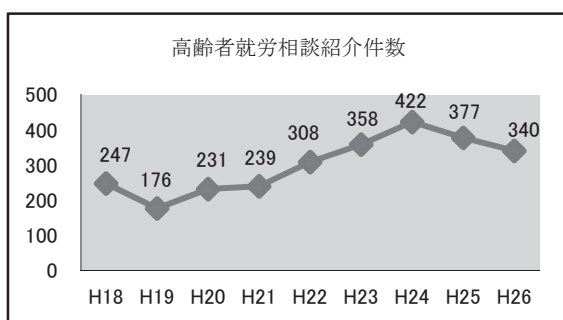
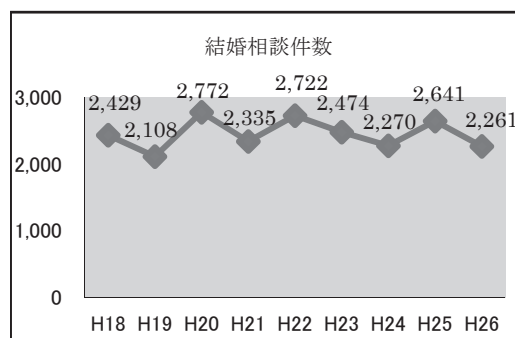
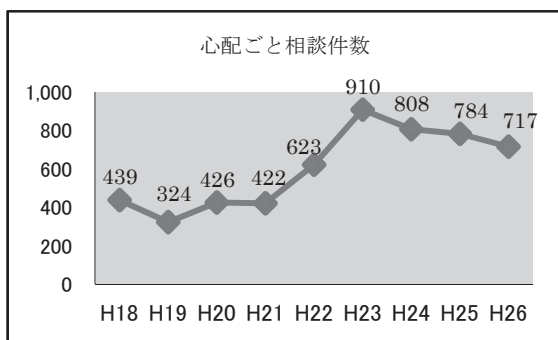
(4) 関係機関・団体との連携による地域福祉事業の推進

地域福祉を推進していくため、民生児童委員、子ども会、老人クラブ、ボランティア団体と連携・協力し、協働で事業・活動を推進するとともに、社協会報やホームページ等で周知と参加の呼びかけを行いました。

活 動	H21	H22	H23	H24	H25	H26
一人暮らし等訪問活動（地区）	28	28	28	28	28	28
児童福祉週間（参加者）	540	545	705	510	102	103
子ども会スポーツ大会（参加者）	750	750	750	700	750	750
子ども会奉仕活動（参加者）	200	80	80	100	150	60
子ども会議（参加者）	480	450	450	450	450	500
親と子の集い（参加者）	48	38	40	40	35	63
老人スポーツ大会（参加者）	981	927	中止	1,000	900	823
老人作品展覧会（出品）	263	268	258	223	204	208
老人芸能大会（参加者）	1,800	1,800	1,800	1,500	1,300	1,060
ボランティアまつり（参加者）	3,000	600	1,500	900	500	300

(5) 各種相談業務や在宅支援サービスの推進

市民の心配ごとや生活資金の相談に応じ、安心な暮らしができるよう、各種福祉制度を紹介するとともに、行政や関係機関・団体と緊密な連携を図って対応を行いました。



第3章 盛岡市の地域福祉課題

1. 人口、高齢化率

盛岡市が平成 26 年に推計した将来人口では、人口減少が進行していくと予想されています。

また、高齢化率は平成 26 年 4 月 1 日（2014 年）現在で、24%となっており、約 4 人に 1 人が 65 歳以上の高齢者となり、今後も高齢化率は上昇していくものと推測されています。

一方、15 歳未満の年少人口は減少し、少子高齢化が今後も進行することが見込まれます。

(1) 人口推移

(単位：人)

区分	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年
盛岡市	292,632 人	300,723 人	302,857 人	300,746 人	298,348 人
岩手県	1,416,928 人	1,419,505 人	1,416,180 人	1,385,041 人	1,330,147 人
全国	123,611,167 人	125,570,246 人	126,925,843 人	127,767,994 人	128,057,352 人

(平成 22 年国勢調査)

(2) 人口、高齢化推計

(単位：人)

区分	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年	平成 47 年
人口	297,047 人	290,455 人	281,820 人	271,739 人	260,458 人
65 歳以上	74,252 人	80,831 人	84,439 人	86,799 人	88,165 人
15 歳未満	37,182 人	33,532 人	29,944 人	27,113 人	25,120 人
高齢化率	25.0%	27.8%	30.0%	31.9%	33.8%

(平成 26 年 5 月 盛岡市の人口の推移と将来推計)

2. 地域福祉課題

(1) 地域福祉ワークショップ、地区福祉懇談会での意見

盛岡市が平成 26 年に市内 7 圏域で開催した地域福祉ワークショップで出された地域課題について、盛岡市社会福祉協議会が平成 26 年 7 月から平成 27 年 8 月まで市内 32 地区で実施した地区福祉懇談会で、地域課題の解決に向けて「地域で出来ること」について話し合われました。

【課題】 近所づきあいや交流の場づくり

隣近所づきあいが希薄となっていることから、日常的な近隣との関係づくりや交流を目的としたイベント等の交流の場づくりの必要性があります。

【地域で出来ること】

- あいさつ、声かけ
- ふれあい・いきいきサロンの開催
- 子ども会と老人クラブの交流活動（世代間交流）
- 親子や家族が参加できる行事（納涼会、子育てサロン）
- 伝統文化伝承活動

【地区福祉懇談会ではこのような意見も】

- ・憩いのベンチの設置
- ・公園でラジオ体操
- ・地域の朝市を商店、農家の協力で開催
- ・一品持ち寄り昼食会
- ・夕飯を一緒に食べる日（子供から高齢者まで誰でも参加）

【課題】 活動拠点の整備、新たな社会資源の活用への期待

道路整備や活動拠点の整備に関しては、いくつかの地区で課題となっており、集会施設の未整備の地区からは整備を求める意見がありました。地域内で増えている空き家を積極的な活用が求められています。

【地域で出来ること】

- 公民館、空き家を活用したサロンの開催
- 町内会・自治会での空き家管理
- 地域内のまち歩きで地域の状況を知る

【地区福祉懇談会ではこのような意見も】

- ・レンタル畑を交流の場に
- ・空き家をグループホームやシェアハウスに
- ・駐車場、空き地でフリーマーケット
- ・地区の社会資源マップの作成

【課題】 地域活動を支えている人の高齢化と担い手不足の深刻化

町内会・自治会等の地域活動の担い手の減少や役員等の後継者不足等が課題となっており、若手に活動参加をどう促すか、団塊世代が地域活動への参加する取り組み。また、町内会・自治会等に入らない、活動に参加しない傾向がみられ、対策に苦慮しています。

【地域で出来ること】

- 若者向け行事の開催
- 学習会の開催
- 高齢者同士の支え合い活動
- 地域の対象者調査

【地区福祉懇談会ではこのような意見も】

- ・中学生、高校生が参加する地域行事
- ・町内会で還暦の集い開催
- ・地域の有料ボランティア組織が町内会の草取りなどの（生きがいつくり）
- ・おせっかいおばさん、おじさんの復活
- ・男の会を作り集まる（飲ミネーション）
- ・地域版人材バンク
- ・地域で婚活（合コン）

【課題】除雪、買い物、通院、ごみ捨てなどの日常生活支援ニーズの増加

住民の高齢化や高齢者だけの世帯が増えているため、除雪作業やごみ捨て等が困難な状況。また、交通利便性の確保、日常的な買い物先や医療機関が近所にならない場合、移動手段の確保を含めて不便な状況があります。

【地域で出来ること】

- 近隣住民による日常生活支援（買い物、雪かき、ゴミ捨てなど）
- 町内会・自治会内のボランティア組織づくり
- 介護教室、認知症講座の開催

【地区福祉懇談会ではこのような意見も】

- ・町内会で除雪が必要な世帯リストの作成から始める
- ・誰もが老いる勉強会の開催
- ・高齢者が参加できるようボランティアの送迎サービス
- ・福祉推進会が買い物、通院用のミニバス運行

【課題】地域での避難支援、見守り体制の強化

地域における災害時の体制整備や日常的な見守り活動などが行われていますが、ひとり暮らし世帯や高齢者だけの世帯が増加しており、安否確認や見守り、老老介護の支援、孤独死の防止などが課題。

「個人情報の保護」が壁となり、民生委員・児童委員や町内会・自治会等の役員が地域住民の状況を把握しにくくなっている実態があり、災害時など緊急時に備えた助け合い体制の構築に支障を来している。

【地域で出来ること】

- 見守り活動（シルバーメイト）
- 地域支え合いマップの作成
- 防災訓練の実施
- 子どもの見守り（ワンワンパトロール、スクールガード）

【地区福祉懇談会ではこのような意見も】

- ・町内の高齢者マップ作成
- ・定期的な防災マップの見直し

【課題】福祉教育，ボランティア活動の推進

未来を担う子どもたちへの福祉教育の必要性について、日頃から福祉の体験が必要です。また、幅広い世代が地域活動やボランティア活動に関する研修会等を開催し、多くの住民が参加するような取り組みが必要です。

【地域で出来ること】

- ボランティア研修会の開催
- ボランティア活動への参加
- 学校と地域の行事開催
- 高齢者や障がい者疑似体験（キャップ・ハンディ体験）

【地区福祉懇談会ではこのような意見も】

- ・地域で寺子屋。勉強を大学生や高齢者のボランティアがみる
- ・中学生スノーバスターズ
- ・子ども会で親子キャップ・ハンディ体験

第4章 基本理念と基本目標

1. 基本理念

「人と人がつながり、共に支え合うまちづくり」

これまでの活動計画では、「地域内住民の良好な交流と相互の支え合いによるまちづくり」を基本理念に、すべての人々が、その家庭や地域でノーマライゼーション理念に基づいた生活を送れるような地域社会の確立を目指し、住民、町内会・自治会、地区福祉推進会、福祉事業者、行政、福祉機関等が協働して地域福祉活動を推進してきました。

近年は、「地縁」が希薄化していることに加え、高齢や障がい、貧困などの理由で社会的に孤立する方が増加しています。こうした課題を地域としての課題として捉えていくことで、解決していくために地域住民の良好な関係と助け合いの地域となるよう、「人と人がつながり、共に支え合うまちづくり」を目指していきます。

2. 基本目標

(1) 支援を必要とする人が確実に福祉サービスを受けられる仕組みづくり

支援を必要とする人が、適切かつ確実に福祉サービスを受けられるとともに、サービス利用者の権利が尊重され、必要なサービスが利用しやすい仕組みを構築します。

(2) 共に支え合うことができる地域環境づくり

一人ひとりが、共に支え合う意識をもち、住み慣れた地域で、誰もが地域の一員として尊重され、自立した生活を送ることができるよう、お互いに支え合うことができる地域環境の整備を推進します。

(3) 地域福祉を担うひとつづくり

支援を必要とする人が適切なサービスを受けられるよう、また住み慣れた地域で、誰もが地域の一員として尊重され、自立した生活を送ることができるよう、お互いに支え合うことのできる地域福祉を推進します。

3. 重点項目

(1) お互いが助け合う地域づくり

地域では高齢や障がいによって生活に支障を持つ人や子育てで悩んでいる母親など課題を抱えながら孤立してしまいがちな方を地域で見守り、助け合える地域づくりに取り組みます。

(2) 多様な交流の場づくり

子育て世代から高齢者まで気軽に声をかけあい、顔の見える関係づくりのため、地域に多様な交流の場を広げていくことに取り組みます。

(3) 幅広い層の担い手づくり

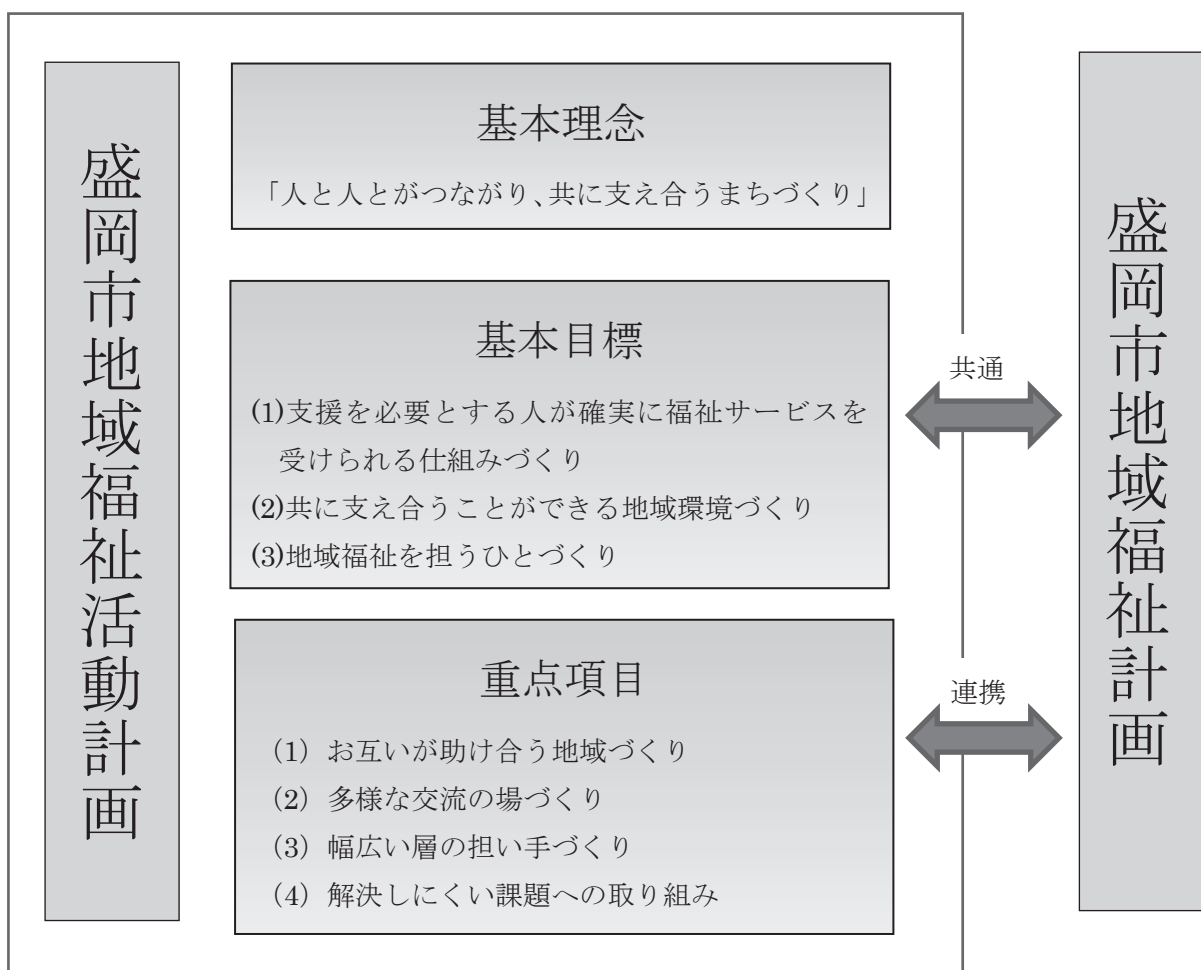
市民の中には頼まれれば助けてい、地域の役に立ちたいという人がいますが、どのような活動や参加の方法がわからない市民も多い現状があります。幅広い年齢層の住民、また地域の企業等が地域活動に参加できるよう取り組みます。

(4) 解決しにくい課題への取り組み

地域では、様々な福祉制度の対象から外れていることから悩み、困っている方や生活困窮世帯の増加など、住民、行政、関係機関が連携・協力しないと解決しにくい課題が増えていることから、新たな取り組みや仕組みを考え、解決に向けて取り組みます。

4. 推進体系

地域福祉の推進にあたっては、盛岡市地域福祉計画と基本目標を共通とし、重点項目については連携を図りながら市民、町内会・自治会、地区福祉推進会、民生児童委員連絡協議会、福祉団体、事業者、NPO等と連携・協力を図りながら進めます。



重点項目の取り組み体系

【重点項目】	【項目】	【事業項目】
お互いが助け合う地域づくり	(1) 地域福祉コーディネート活動	○地域福祉コーディネート活動
	(2) 地域資源を活用したネットワーク	○地域資源調査
	(3) 見守り活動	○おげんき見守りシステム ○シルバーメイト研修会 ○認知症サポーターの養成
	(4) 支え合い活動	○地域支え合いマップの作成 ○日常生活支援（ゴミ捨て、雪かき等） ○防災訓練
	(5) ボランティア・市民活動の推進	○ボランティア・市民活動センター ○ボランティア講座等の開催 ○ボランティア情報交換会、ボランティアまつりの開催 ○ボランティア情報の提供 ○生活支援（雪かき、ゴミ捨て等）活動
多様な交流の場づくり	(1) 交流の場づくり	○ふれあいサロンの開催
	(2) 拠点づくりの支援	○世代間交流会の開催 ○ふれあい給食会・座談会の開催 ○地域の担い手研修会の開催 ○サークル活動の周知
幅広い層の担い手づくり	(1) 福祉教育	○キャップ・ハンディ体験 ○キャップ・ハンディ体験用具の貸出 ○高校生ボランティア講座 ○ボランティア入門講座
	(2) 日常生活を支援する人材育成	○介護教室 ○医療・保健講座
解決しにくい課題への取り組み	(1) 困りごとへの対応	○地域福祉コーディネート活動 ○高齢者・障がい者の生活支援 ○地域資源との連携
	(2) 相談・支援活動	○各種相談所（心配ごと相談所、結婚相談所、高齢者職業紹介所）の運営 ○生活福祉資金、助け合い資金の貸付 ○権利擁護事業（日常生活自立支援事、成年後見制度） ○関係支援機関等との連携
	(3) 地域課題への取り組み	○地区福祉懇談会・ワークショップの開催 ○地区福祉推進会活動の活性化 ○学習会の開催

第5章 各論

1. お互いが助け合う地域づくり

誰もが住み慣れた地域で安心・安全に暮らすことができる地域社会を形成するためには、地域内住民の交流や近隣の連携が必要です。

個人や世帯が抱える生活課題の多様化・複雑化により、個別分野の相談支援機関だけでは対応が難しいケースが増加しており、自立した生活を営めるよう各相談支援機関と地域福祉コーディネーターが連携し、サービスが提供されるよう、盛岡市が進める地域トータルケアシステムの構築に向けて取り組みます。

また、地域の中で困っていてもSOSを出せずに悩み、孤立してしまいがちな人が声を出し、助け合える地域づくりに向けて地域福祉ネットワークの構築を目指します。

【地域トータルケアシステム】

高齢者や障がいの有無や年齢にかかわらず、人としての尊厳を持ち、家族や地域の中で安心して自立した生活ができる地域社会を実現する仕組みです。

(第2期盛岡市地域福祉計画)

将来目指す姿

- みんなが地域活動に参加し、顔の見える地域づくりを進めるまち
- 地域の課題に取り組む町内会・自治会やボランティアグループが増え、地域の助け合いが進むまち
- 相談できる人や場所が近くにあり、近所の人がお手伝いをするまち

(1) 地域福祉コーディネート活動

地域福祉の推進には、住民による主体的な活動と、行政や民間の多様な主体が協働しながらそれぞれの役割を果たしていくことが重要であり、そのためには、課題やニーズを発見し、受け止め、地域の資源（情報・人・場所など）をつないでいく、地域での生活を支えるネットワークの中心となる人材として地域福祉コーディネーターの役割が大きいことから、人材の育成とともに相談支援機関と連携して地域における個別支援とその基盤としての生活支援システムづくりを進め、地域の課題解決に向けた取り組みを進めます。

【地域福祉コーディネーター】

生活上の課題を抱える個人や家族に対する支援として行われる個別支援（ケースワーク）だけでなく、それらの人々が暮らす生活環境の整備や住民の組織化等の地域支援をチームによって統合的に展開する実践活動である「コミュニティ・ソーシャルワーク」活動を行う専門職で、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）とも言います。

取り組み	実施主体	協力・関係機関等
○地域福祉コーディネート活動	社協、地域包括支援センター	市、介護支援センター、相談支援センター、民生委員、ボランティア

【目標値】

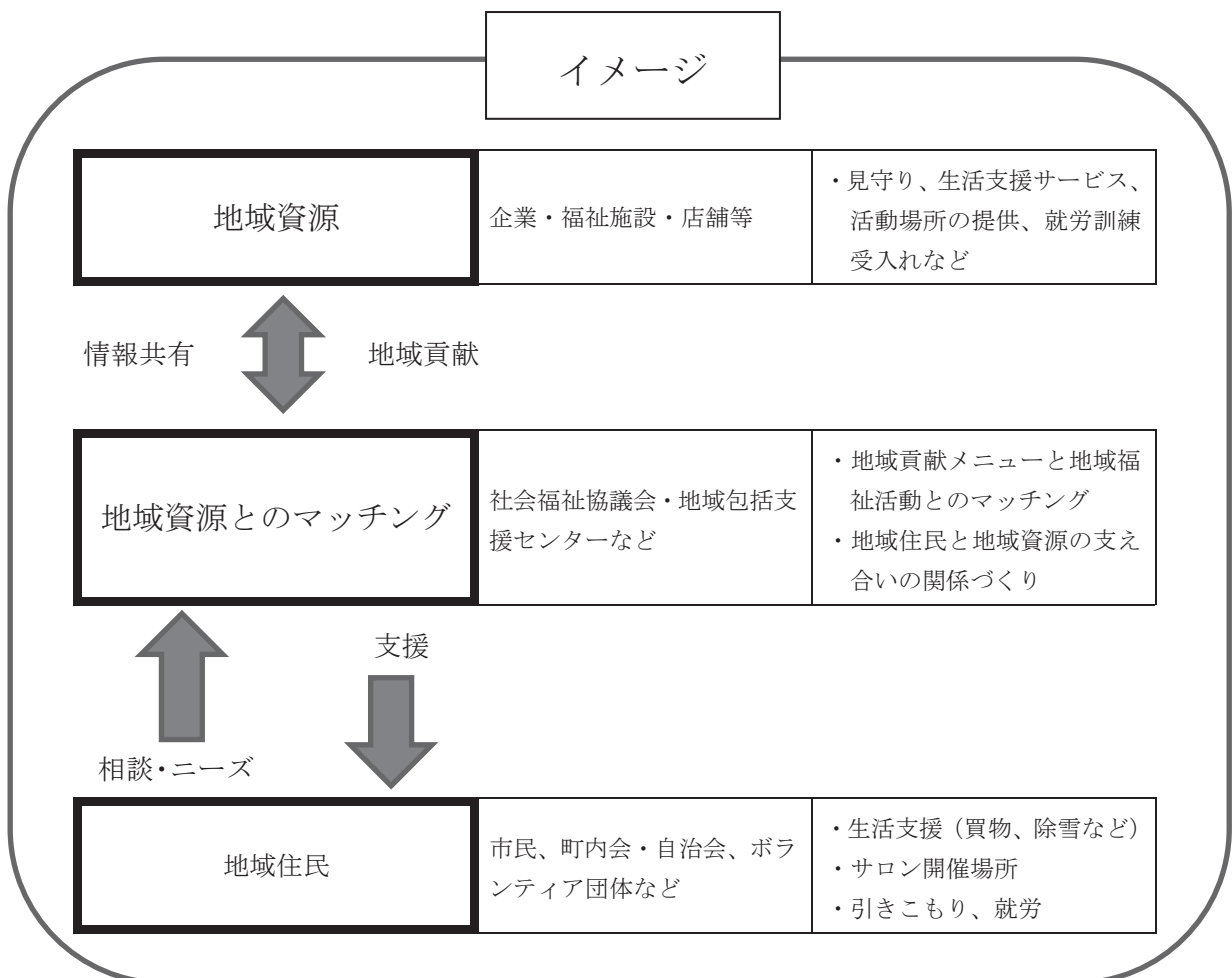
指標	現状値 (H26)	目標値	
		H31	H36
相談・支援機関等における地域福祉コーディネーター数	0人	10人	20人

(目標値：第2期盛岡市地域福祉計画)

(2) 地域資源を活用した地域福祉ネットワーク

地域に点在する社会福祉施設、企業、店舗が行う社会貢献やサービスなど地域資源メニューを把握・共有し、地域福祉活動等に活用することで、地域資源とのネットワーク化を図るとともに、地域における社会貢献活動を促進します。

取り組み	実施主体	協力・関係機関等
○地域資源調査	市、社協、地域包括支援センター	企業、福祉施設、NPO、介護支援センター、相談支援センター、福祉推進会、民生委員、ボランティア



(3) 見守り活動

一人暮らし高齢者など気がかりな地域住民の見守りを行うシルバーメイト事業は、地区福祉推進会、町内会・自治会、民生委員など地域住民の主体的参加により、高齢者等の見守り活動を推進します。

また、ICT（情報通信技術）を活用した高齢者の見守り「おげんき見守りシステム」を活用した見守り、認知症サポーターの養成を行いながら、地域の見守り体制づくりを進めます。

取り組み	実施主体	協力・関係機関等
○シルバーメイト事業	社協	市、福祉推進会、町内会・自治会、老人クラブ、民生委員、地域包括支援センター
○シルバーメイト研修会	社協、市	福祉推進会、町内会・自治会、民生委員
○おげんき見守りシステム	社協	町内会・自治会、民生委員、地域包括支援センター
○認知症サポーターの養成	市、社協、地域包括支援センター	福祉推進会、町内会・自治会、民生委員

【目標値】

指標	現状値 (H26)	目標値	
		H31	H36
シルバー（見守り対象者）	681人	800人	880人
メイト（見守り協力者）	934人	1,100人	1,200人

（目標値：第2期盛岡市地域福祉計画）

(4) 支え合い活動

高齢者など支援を必要としている方を近隣住民が支える地域の仕組みと体制づくりを進めます。また、災害発生時における要援護者避難支援訓練を通じて、通常時の見守りや支援活動につながるよう取り組みます。

取り組み	推進主体	協力・関係機関等
○地域支え合いマップの作成	社協、町内会・自治会	市、福祉推進会、町内会・自治会、民生委員
○日常生活支援（ゴミ捨て、雪かき等）	市、社協、町内会・自治会	福祉推進会、地域包括支援センター、老人クラブ
○防災訓練	町内会・自治会、福祉推進会	市、社協、消防署

【目標値】

指標	現状値 (H26)	目標値	
		H31	H36
地域支え合いマップ作成数	180地区	200地区	230地区

（目標値：第2期盛岡市地域福祉計画）

(5) ボランティア・市民活動の推進

地域福祉活動には住民やボランティアの参加協力が大きな力となります。多様化・複雑化・深刻化する地域の生活課題や市民活動に対して、ボランティアセンター機能の一つであるボランティアコーディネート業務を進めながら、分野ごとのNPOとも連携しながら市民活動を支援します。

また、ボランティア活動推進のため、ボランティア講座や研修会等を開催し、ボランティア体験などを通じて市民のボランティア活動への参加を推進します。

近年、盛岡市内でも災害が発生していますが、災害から生じるボランティアニーズを災害ボランティアセンターから市民やボランティアに周知を図り、ボランティア活動による被災者の早期支援に努めます。

取り組み	推進主体	協力・関係機関等
○ボランティア・市民活動センター ○災害ボランティアセンター	社協	市、ボランティア団体、NPO、企業、各相談事業所
○ボランティア講座等の開催	社協、町内会・自治会	福祉推進会、町内会・自治会、民生委員、ボランティア団体
○ボランティア情報交換会、ボランティアまっりの開催	社協、ボラ連	ボランティア団体
○ボランティア情報、助成金情報の提供	社協	ボランティア団体
○生活支援（雪かき、ゴミ捨て等）活動	社協、町内会・自治会	市、町内会・自治会、民生委員

【目標値】

指標	現状値 (H26)	目標値	
		H31	H36
ボランティア団体登録数	124 団体	135 団体	140 団体
個人ボランティア登録数	10,968 人	11,750 人	12,000 人

(目標値：第2期盛岡市地域福祉計画)



2. 多様な交流の場づくり

地域でお互いが声をかけあい、顔が見える関係づくりとなるよう、交流の場を地域の中に広げます。

将来目指す姿

- 身近な地域に多種多様な交流の場があり、自分の好きな場所に参加できるまち
- 地域で孤立しがちな人も参加しやすいサロンが立ち上がっている地域
- サロン活動を通じて、多くの年代の仲間づくりが進み、地域の居場所があるまち

(1) 交流の場づくり

町内会・自治会単位の地域型サロン活動のほか、子育てや認知症など、テーマ別サロンを身近な地域で誰もが参加できる交流の場や居場所づくりと併せて、サロン運営の担い手となる幅広い年齢層のボランティア人材の育成を進めます。

また、地区福祉推進会が開催する世代間交流会、ふれあい給食会・座談会などのふれあい事業の支援や、地域で行われているサークル活動の情報を社会福祉協議会ホームページ等で市民に提供します。

(2) 拠点づくりの支援

地域で行われるサロン活動は集会所などが大半であるが、より身近な場所での開催のため、企業や店舗などの地域資源や空き家の活用を行政など関係機関と協力して交流拠点づくりを支援します。

取り組み	推進主体	協力・関係機関等
○ふれあいサロンの開催	社協、町内会・自治会、民生委員、ボランティア等	市、地域包括支援センター、民生児童委員、老人クラブ、ボランティア
○世代間交流会の開催	社協、福祉推進会、町内会・自治会	学校、老人クラブ、子ども会、ボランティア
○ふれあい給食会・座談会の開催	社協、福祉推進会	町内会・自治会、民生児童委員、ボランティア
○地域の担い手研修会の開催	社協	福祉推進会、町内会・自治会
○サークル活動の周知	社協	福祉推進会、NPO

【目標値】

指標	現状値 (H26)	目標値	
		H31	H36
ふれあいサロン設置数	174 か所	200 か所	230 か所
世代間交流事業参加者数	6,738 人	7,500 人	8,000 人
高齢者ふれあい座談会の参加者数	5,783 人	5,180 人	5,500 人

(目標値：第2期盛岡市地域福祉計画)

3. 幅広い層の担い手づくり

地域福祉活動には、子どもから大人まで幅広い層の参加と協力が必要です。各層の参加がより増加するよう各種講座などの開催により、多くの市民が学び、地域の担い手となり活動できるよう取り組みます。

将来目指す姿

- 子どもから大人まで幅広い市民が積極的に福祉活動へ参加する地域
- 支援を必要とする高齢者や障がい者に地域住民が手を差し伸べる地域
- 企業や事業所など多様な地域資源と連携しながら活動するまち

(1) 福祉教育

福祉意識の高揚と醸成のため、学校や地域でボランティア活動に関する講座を開催し、支え合いの意識を高めながら、地域における福祉活動を担う幅広い年齢層の人材育成を推進します。

また、学びの過程の中で、地域課題に向き合っていけるようなきっかけづくりや地域力の向上に向けた働きかけを行い、助け合いの地域づくりに向けた福祉教育を推進します。

取り組み	実施主体	協力・関係機関等
○キャップ・ハンディ体験の実施	社協、学校、町内会・自治会、福祉推進会	市、教育委員会、ボランティア団体、企業
○キャップ・ハンディ体験用具の貸出し	社協	ボランティア団体
○高校生ボランティア講座の開催	社協	学校、ボランティア団体、福祉事業者
○ボランティア入門講座の開催	社協	ボランティア団体、障がい者団体、福祉事業者

【目標値】

指標	現状値 (H26)	目標値	
		H31	H36
高校生ボランティア講座参加者数	15人	25人	40人
ボランティア入門講座参加者数	8人	25人	40人

(2) 日常生活を支援する人材育成

高齢者や障がい者の日常生活を支援する地域となるよう、認知症や介護、障がいについて市民が理解するよう、地区福祉推進会や町内会・自治会が開催する各種研修、講座の開催を支援します。

また、近隣住民による日常生活支援活動を推進するため、ボランティアの発掘、人材育成を目的とする研修会等を開催します。

取り組み	実施主体	協力・関係機関等
○介護教室の開催	市、社協、福祉推進会	町内会・自治会、地域包括支援センター
○医療・保健講座の開催	市、社協、福祉推進会	町内会・自治会、地域包括支援センター

【目標値】

指標	現状値 (H26)	目標値	
		H31	H36
介護教室参加者	1,500 人	1,550 人	1,600 人
医療・保健講座参加者	1,609 人	1,650 人	1,700 人



4. 解決しにくい課題への取り組み

地域の中には認知症やひきこもり、子育て、生活困窮などで悩み、不安を抱えて生活している方がいます。行政、市民、関係機関が連携・協力した地域福祉ネットワークを構築し、解決に向けて取り組みます。

将来目指す姿

- 高齢者や障がい者等が抱える悩みや不安に対応した仕組みのあるまち
- 住民同士や地域で解決が難しい課題を、専門機関など関係機関と一緒に解決する仕組みのあるまち

(1) 困りごとへの対応

生活困窮やひきこもり、認知症高齢者、ゴミ屋敷などの個別ケースに対応する地域福祉コーディネーターによる支援活動、また地域包括ケアシステムの構築に向けて、認知症高齢者や障がい者など支援を必要とする方へ、地域や各福祉分野との協力、地域資源と連携した支援ができるよう、体制の確立に向けた取り組みを推進します。

取り組み	実施主体	協力・関係機関等
○地域福祉コーディネート活動	市、社協、地域包括支援センター、相談支援センター	相談支援機関、町内会・自治会、老人クラブ、民生委員、NPO、ボランティア
○高齢者・障がい者の生活支援	市、社協、地域包括支援センター	町内会・自治会、老人クラブ、ボランティア、NPO、福祉事業者
○地域資源との連携	市、社協、地域包括支援センター	町内会・自治会、老人クラブ、民生委員、NPO、企業、ボランティア

【地域包括ケアシステム】

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現していきます。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。
- 地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく必要があります。

【厚生労働省 平成25年3月地域包括ケア研究会報告書】

(2) 相談・支援活動

市民の心配ごとや生活資金支援、権利擁護に関する相談に応じ、安心した暮らしができるよう関係機関と連携して支援を行います。

また、日常生活における相談においては、ボランティア・市民活動センター、地域福祉コーディネーター、関係相談支援機関、NPO、ボランティアと連携した支援を行います。

取り組み	実施主体	協力・関係機関等
○各種相談所（心配ごと相談所、結婚相談所、高齢者職業紹介所）の運営	市、社協、NPO	地域包括支援センター、各相談機関、ボランティア
○生活福祉資金、助け合い資金の貸付	社協	各相談機関、民生児童委員
○権利擁護事業（日常生活自立支援事業、成年後見制度）	市、社協、NPO	地域包括支援センター、各相談機関
○関係支援機関等との連携	社協、各相談支援機関	市、地域包括支援センター、NPO、ボランティア

【目標値】

指標	現状値 (H26)	目標値	
		H31	H36
各種相談所相談件数	3,658 件	3,840 件	4,023 件
日常生活自立支援事業（新規利用者）	32 人	45 人	60 人

(3) 地域課題への取り組み

少子高齢化や人口減少などに伴う地域課題について、地区福祉懇談会やワークショップを定期的で開催し、地域課題解決への取り組みや将来の地域づくりに向けた活動について話し合いながら、地区福祉推進会を基盤とした活動の活性化を図ります。

また、地域ごとに開催される地域ケア会議やネットワーク会議において地域課題について関係機関と連携しながら解決に向けた取り組みを行います。

地区福祉推進会や町内会・自治会が開催する各種研修会・学習会の講師紹介、調整などの支援を行います。

取り組み	実施主体	協力・関係機関等
○地区福祉懇談会・ワークショップの開催	市、社協	福祉推進会、町内会・自治会
○地区福祉推進会活動の活性化	市、社協、地区福祉推進会	町内会・自治会、地域包括支援センター
○各種学習会の開催	地区福祉推進会、町内会・自治会	市、社協、地域包括支援センター

【地域課題への取り組み例】

- ・ワークショップによる地区福祉活動計画の策定
- ・地域の人材バンク、ボランティアセンター設置
- ・支え合いマップの作成、更新によるご近所支え合いの仕組みづくり
- ・地域でのボランティア育成講座の開催
- ・認知症サポーター、市民後見などの講座開催

第6章 計画推進のために

1. ネットワーク連携による計画推進

地域福祉の推進にあたっては、市民、行政、地区福祉推進会、町内会・自治会、福祉団体、ボランティア団体・NPO、事業者、関係機関等とのネットワークを生かしながら協働で計画の推進を図ります。

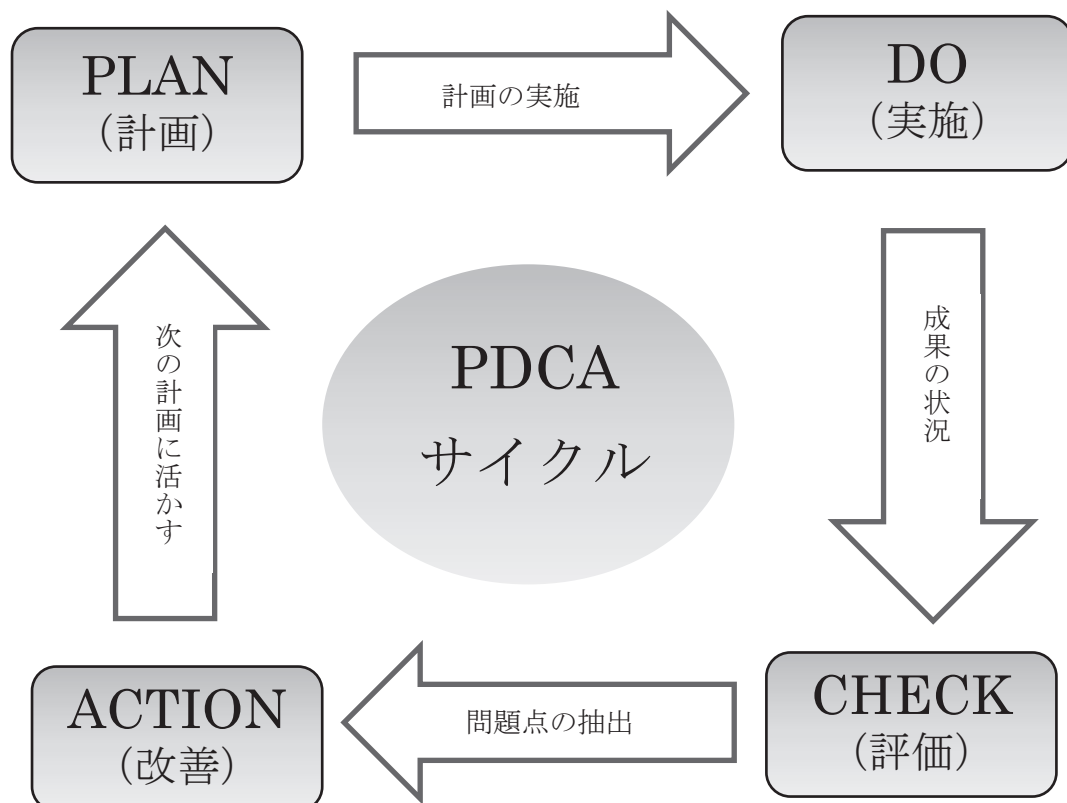
また、盛岡市が策定した「地域福祉計画」と連携しながら計画を推進します。

2. 盛岡市社会福祉協議会の強化・発展方針

計画策定後、本会が計画実施の牽引役としての使命を果たすためには、組織基盤の強化・発展が不可欠となります。

そのために、本会が盛岡市の地域福祉を推進するための協議体としてのビジョンと目標を明確に実施していくことが重要であり、組織、事業、財務などに関する具体的な計画を実施し、地域福祉活動計画の実践と共に経営改善に計画的に取り組んで行くため「中長期経営計画」の策定が必要です。

今後は10年先を見据え、諸制度や地域福祉課題の現状、地域での取り組み状況、本会の組織体制・事業内容・財務状況などを十分に把握検討したうえで「中長期経営計画」の策定に取り組み、PDCAサイクルを確立し、計画を実践・推進していきます。



3. 活動計画の実施評価

活動計画の評価項目や基準を明確にし、年度ごとに進行管理を行い、評価については参加人数や件数など数量的な評価だけでなく、関係する市民、団体へのアンケートなどを行い、その有効性などを確認していきます。

また、そこから抽出された課題の分析を進め、活動計画の取り組みや展開方法について、5年後の中間年度に見直しを行います。



資料編

- 1 第2期地域福祉活動計画の策定経過
- 2 第2期地域福祉活動計画策定委員会委員名簿
- 3 第2期地域福祉活動計画策定委員会設置要綱
- 4 パブリックコメント実施要領
- 5 地区福祉懇談会結果
- 6 地域支え合いマップ作成、ふれあいサロン開催、シルバーメイト数

1. 第2期地域福祉活動計画の策定経過

(1) 策定委員会の開催

回	開催期日	内容
1	平成26年10月20日	1) 委員長、副委員長互選 2) 委員会開催スケジュール
2	平成27年3月17日	1) 地区福祉懇談会中間報告 2) 盛岡市地域福祉計画（案）について 3) 計画の構成について 4) 今後の予定について
3	平成27年11月26日	1) 地区福祉懇談会の結果について 2) 地域福祉活動計画素案について
4	平成28年1月18日	1) 地域福祉活動計画素案（修正案）について
5	平成28年2月19日	1) 地域福祉活動計画（案）の決定

(2) プロジェクトチーム会議

回	開催期日	内容
1	平成26年4月4日	26年度活動計画進行管理、次期活動計画について
2	平成26年4月21日	26年度活動計画進行管理、地区福祉懇談会について
3	平成26年5月9日	26年度活動計画進行管理、ワークショップ・福祉懇談会について
4	平成26年6月4日	活動計画進捗状況の再確認、地区福祉懇談会、策定委員会について
5	平成26年7月1日	地区福祉懇談会、策定委員会について
6	平成26年7月24日	地区福祉懇談会開催状況、策定委員会について
7	平成27年10月6日	地区福祉懇談会開催結果、活動計画評価、次期計画の構成について
8	平成27年10月26日	活動計画評価、次期計画素案について
9	平成27年11月7日	活動計画評価、次期計画素案について
10	平成27年11月16日	活動計画評価、次期計画素案について
11	平成27年11月30日	策定委員会結果、計画素案修正について
12	平成28年1月6日	素案修正（案）について
13	平成28年1月22日	策定委員会結果、パブリックコメントについて
14	平成28年2月15日	活動計画（案）について
15	平成28年3月9日	活動計画概要版（案）について

(3) パブリックコメント

募集期間
平成28年1月26日～2月5日

2. 第2期地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

(任期：平成26年10月1日～平成28年3月31日)

委員名	所属団体・役職	備考
宮 寺 良 光	岩手県立大学社会福祉学部准教授	委員長
米 田 ハツエ	盛岡市社会福祉協議会副会長	副委員長
北 野 萬喜子	盛岡市社会福祉協議会評議員	
相 馬 宏	盛岡市民生児童委員連絡協議会副会長	
平 井 興太郎	盛岡市町内会連合会会長	
饗 庭 吉 弘	盛岡市地区福祉推進会会長連絡会会長	
工 藤 宏 行	盛岡市ボランティア連絡協議会理事	
柳 田 宏	盛岡市老人クラブ連合会副会長	
新 川 克 己	盛岡市身体障害者協議会専務理事	
鎌 田 まき子	盛岡市子ども会育成会連絡協議会会長	
山 内 二三男	盛岡地区地域包括・在宅介護支援センター協議会会長	
及 川 愛 子	特定非営利活動法人 WaiWai ぐるんぱ代表	
金 子 貞 子	特定非営利活動法人盛岡市ファミリーサポートセンター理事長	
玉 山 正 彦	盛岡市保健福祉部地域福祉課課長	

3. 第2期地域福祉活動計画策定委員会設置要綱

盛岡市社会福祉協議会第2期地域福祉活動計画策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 第2期盛岡市社会福祉協議会地域福祉活動計画（以下「活動計画」という。）の策定にあたり、必要な事項を調査・検討するため、地域福祉活動計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(検討事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について調査・検討し、その結果を盛岡市社会福祉協議会会長（以下「会長」という。）に報告する。

- (1) 盛岡市における地域福祉の現状、課題の整理及び分析
- (2) 前号に基づく活動計画の策定
- (3) その他活動計画策定に必要な事項

(委員構成)

第3条 委員会は、15名以内をもって構成し、委員は次に掲げる者のうちから会長が委嘱する。

- (1) 盛岡市社会福祉協議会理事
- (2) 盛岡市社会福祉協議会評議員
- (3) 盛岡市地区福祉推進会会長連絡会
- (4) 盛岡市町内会連合会
- (5) 盛岡市子ども会育成会連絡協議会
- (6) 盛岡市身体障害者協議会
- (7) 盛岡市ボランティア連絡協議会
- (8) 盛岡市民生児童委員連絡協議会
- (9) 盛岡市老人クラブ連合会
- (10) もりおかNPO連絡協議会
- (11) 盛岡地区地域包括・在宅介護支援センター協議会
- (12) 盛岡市保健福祉部地域福祉課
- (13) 学識経験者

2 委員会には、会長が必要に応じオブザーバーを若干名委嘱することができる。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長1名を置き、委員の互選とする。

2 委員長は、委員会の会務を統括し、会議の議長となる。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときはその職務を代理する。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、平成28年3月31日までとする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員会の招集)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、盛岡市社会福祉協議会地域福祉課において処理する。

(補足)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成26年8月19日から実施する。

4. パブリックコメント実施要領

盛岡市社会福祉協議会第2期地域福祉活動計画（素案）パブリックコメント実施要領

1. 募集の趣旨

盛岡市社会福祉協議会第2期地域福祉活動計画の作成にあたり、広くその原案を公表し、市民からの意見を反映させることを目的に、パブリックコメントを実施する。

2. パブリックコメントの対象

盛岡市社会福祉協議会第2期地域福祉活動計画（素案）

3. 周知方法

- (1) 福祉もりおかへの掲載
- (2) 盛岡市社会福祉協議会ホームページへの掲載

4. 計画の閲覧方法

(1) 閲覧期間

平成28年1月26日（火）から平成28年2月5日（金）まで

(2) 閲覧方法

- ①盛岡市総合福祉センター1階事務室窓口
- ②盛岡市玉山総合福祉センター1階事務室窓口
- ③盛岡市社会福祉協議会ホームページへの掲載

5. 意見提出期間

平成28年1月26日（火）から平成28年2月5日（金）まで

※郵送の場合は、消印有効とする。

6. 意見の提出資格

- (1) 市内に住所を有する者
- (2) 市内に事務所又は事業所を有する者
- (3) 市内の事務所又は事業所に勤務する者
- (4) 市内の学校に在学する者

7. 意見の提出方法

意見については、任意様式で氏名、住所、電話番号を記入の上、次の方法により提出するものとする。

(1) 持参する場合

盛岡市社会福祉協議会（盛岡市総合福祉センター1階事務所窓口）、または玉山支所（盛岡市玉山総合福祉センター1回事務室窓口）へ提出。（土曜、日曜日は除く。）

(2) 郵送する場合

〒020-0886 盛岡市若園町2-2

盛岡市社会福祉協議会 地域福祉課 宛

(3) ファックスで送信する場合

FAX：019-622-4999（盛岡市社会福祉協議会）

8. 意見の取り扱い

(1) 提出された意見は、「第2期地域福祉活動計画」策定の参考とする。

なお、提出された意見については、個人情報を除き、意見の概要及び盛岡市社会福祉協議会の考え方を、本要領の「4」に掲げた場所等で公表する。

(2) 提出された意見に対して、個別の回答はしない。

9. 関係資料

盛岡市社会福祉協議会第2期地域福祉活動計画（素案）

10. 事務担当

盛岡市社会福祉協議会 地域福祉課

電話番号：019-651-1000

5. 地区福祉懇談会結果

盛岡市社会福祉協議会の地域福祉活動計画が平成 27 年度で終了することから、平成 28 年度から 10 年間の第 2 期地域福祉活動計画策定にあたり、今後 10 年間の地域福祉を推進するうえで、具体的な活動の方向性を市民からの意見や考えを反映するため、地区福祉懇談会を開催しました。

盛岡市が平成 26 年 7 月、8 月に市内 7 圏域で開催した地域福祉ワークショップにおいて、地域課題と現状、今後必要な取り組み、10 年後の地域福祉について話し合わせ、この地域福祉ワークショップの結果をもとに、市内 32 地区の地区福祉推進会ごとに、今後必要な取り組み、10 年後の地域福祉について具体的な方法などについて話し合いを行うために地区福祉懇談会を開催しました。

1. 開催状況

No	開催地区	年度	開催月日	会 場	参加者
1	見 前	26	7 月 1 5 日 (火)	世代交流センター	17
2	津志田	26	7 月 1 7 日 (木)	見前地区公民館	22
3	永 井	26	7 月 2 3 日 (水)	下永井公民館	36
4	飯 岡	26	8 月 2 0 日 (水)	飯岡農業構造改善センター	21
5	乙 部	26	8 月 2 6 日 (火)	乙部老人福祉センター	23
6	巻堀姫神	26	8 月 2 9 日 (金)	巻堀地区コミュニティー	21
7	玉山藪川	26	9 月 3 日 (水)	玉山地区公民館	35
8	渋 民	26	9 月 2 5 日 (木)	玉山総合福祉センター	24
9	北厨川	26	1 0 月 7 日 (火)	北厨川老人福祉センター	26
10	好 摩	26	1 0 月 9 日 (水)	好摩地区コミュニティー	34
11	青 山	26	1 0 月 2 1 日 (水)	青山地区活動センター	32
12	みたけ	26	1 0 月 2 3 日 (木)	みたけ地区活動センター	37
13	本 宮	26	1 1 月 6 日 (木)	本宮地区活動センター	27
14	土 淵	26	1 1 月 1 4 日 (金)	土淵地区活動センター	24
15	つなぎ	26	1 1 月 1 7 日 (月)	つなぎ地区活動センター	40
16	東厨川	26	1 1 月 1 8 日 (火)	厨川老人福祉センター	34
17	仙 北	26	1 1 月 2 7 日 (木)	仙北地区活動センター	47
18	築 川	26	1 2 月 3 日 (水)	築川老人福祉センター	9
19	太 田	26	1 2 月 8 日 (月)	太田地区活動センター	24
20	杜 陵	26	1 月 2 2 日 (木)	杜陵老人福祉センター	29
21	城 南	26	1 月 2 7 日 (火)	山王老人福祉センター	36
22	中 野	26	1 月 2 9 日 (木)	川目老人福祉センター	22
23	大慈寺	26	2 月 6 日 (金)	大慈寺老人福祉センター	29

No	開催地区	年度	開催月日	会 場	参加者
24	加賀野	26	2月19日(木)	加賀野老人福祉センター	24
25	米 内	27	6月 4日(木)	上米内老人福祉センター	27
26	山 岸	27	6月15日(月)	山岸地区活動センター	39
27	松 園	27	6月19日(金)	松園地区活動センター	30
28	仁 王	27	7月 3日(金)	仁王老人福祉センター	27
29	西厨川	27	7月24日(金)	西厨川老人福祉センター	29
30	緑が丘	27	7月30日(木)	緑が丘老人福祉センター	33
31	桜 城	27	8月 5日(水)	桜城老人福祉センター	34
32	上 田	27	8月28日(金)	上田老人福祉センター	38
合計					930

3. 地区福祉懇談会で出された住民意見

盛岡市が開催した地域福祉ワークショップの結果をもとに、市内32地区の地区福祉推進会ごとに「これからできること」、「10年後の地域福祉」について話し合いを行いました。

主なテーマとその解決方法として出された意見は次のとおりです。

①高齢化に対する地域活動

- 町内で高齢者世帯などの除雪の仕組みづくり
- ひとり暮らし高齢者を地域で見守る仕組みづくり
- ふれあいサロンの開催
- 買い物ボランティア
- 防災福祉マップの作成
- ご近所さんが高齢者のゴミ捨て
- 認知症を理解する勉強会、学習会の開催
- ひとり暮らし高齢者へは回覧板を手渡しで

②ご近所づきあい

- 地域であいさつ運動
- 世代間交流会の開催
- 公園でラジオ体操(公園でサロン)
- 防災訓練の実施
- 一品持ち寄り昼食会
- 班単位で夕食を一緒に食べる会
- 町内ハロウィン(ひとり暮らし高齢者にお菓子を届ける)

③子ども・子育て

- 子育てサロンの開催
- 登下校の見守り(スクールガード、わんわんパトロール)

- 集会所を小学生の寺子屋に（ボランティアが学習指導）
- 保育所の時間外に子供を見てくれる高齢者

④移動・買い物場所の確保

- 送迎ボランティアの仕組み
- コミュニティバスの運行
- 地元商店、農家の協力で空き地朝市
- サロンに移動販売

⑤空き家活用

- 空き家でサロン
- 空き家を集会所に
 - 空き家管理を町内会で（管理費で草刈りなど）

⑥人材の確保

- 地域人材バンク（助け合いセンター）の設置
- 中学生スノーバスターズ

6.地域支え合いマップ、ふれあいサロン、シルバーメイト数

平成 27 年 3 月 31 日現在

No	地区福祉推進會名	町内会 自治會数	福祉マップ 作成数	ふれあい サロン開催 箇所	シルバメイト	
					シルバー	メイト
1	西厨川地区福祉推進會	9	4	5	13	20
2	北厨川地区自治福祉協議會	19	3	3	7	24
3	本宮地区福祉推進會	15	15	9	2	1
4	築川地区福祉推進協議會	8	0	0	5	20
5	中野地区福祉推進會	17	4	5	67	49
6	つなぎ地区振興福祉推進協議會	1	0	1	8	27
7	青山地区活動推進會	12	7	8	3	12
8	仁王地区福祉推進協議會	16	8	11	3	21
9	米内地区福祉推進會	6	6	1	15	21
10	杜陵地区福祉推進會	7	7	2	13	30
11	城南地区福祉推進會	22	6	5	17	38
12	東厨川地区福祉推進會	7	3	5	23	21
13	仙北地区社会教育福祉推進會	12	12	3	18	23
14	山岸地区福祉推進會	15	4	5	26	32
15	桜城地区福祉推進會	28	28	13	33	88
16	太田地区福祉推進會	11	7	5	9	34
17	緑が丘地区振興福祉協議會	14	2	13	76	85
18	上田地域活動推進會	12	7	10	66	78
19	大慈寺地区福祉推進會	6	2	2	25	10
20	松園地区自治協議會	13	6	10	2	32
21	加賀野地区福祉推進會	7	7	5	7	6
22	見前地区福祉推進會	17	6	4	15	24
23	津志田地区福祉推進會	11	2	11	1	2
24	乙部地区福祉推進會	29	1	9	15	17
25	飯岡地区福祉推進會	18	18	4	25	12
26	永井地区福祉推進會	3	3	7	2	15
27	みたけ地区活動福祉推進會	7	6	4	33	39
28	土淵地域活動推進協議會	6	2	1	11	41
29	巻堀姫神地区福祉推進會	8	1	3	21	15
30	好摩地区福祉推進會	10	3	7	30	42
31	渋民地区福祉推進會	13	0	1	50	45
32	玉山藪川地区福祉推進會	8	0	2	50	30
	合計	387	180	174	691	954

盛岡市社会福祉協議会
第 2 期 地 域 福 祉 活 動 計 画

(平成 28 年 3 月策定)

〒020-0886 盛岡市若園町 2-2
TEL 019-651-1000